

2010年度法科大学院国際化プログラム 「アメリカの司法制度の見学」

日程：5月29日～6月5日

場所：アメリカ合衆国ウィスコンシン州マディソン市



ウィスコンシン大学ロースクール訪問

スーザン・スタインガス名誉教授
「アメリカの司法制度」講義
(5月31日 法廷教室)



裁判所見学

(デーモン郡巡回裁判所 6月1日2日&3日)



その日の法廷スケジュールはタッチパネルで検索できます。



法廷の奥にある陪審員室↓

パンダのぬいぐるみがありました。
ハンラハン判事の人柄がわかります。

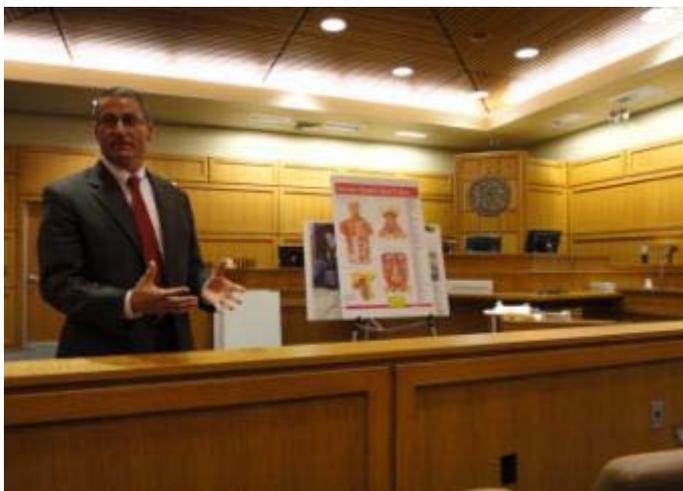


ハンラハン判事の法廷では、6月1日に、陪審員の選任、事実審理、評決まで見学することができました。

終了後、陪審員とお話をすることができました。

2日、別の事件の事実審理で、バーテンダーの証言を聞きました。

3日 マクナマラ判事の陪審への説明の方法について講義



どうぞ、と言われたものですから、つい調子に乗って裁判官になったつもり！！

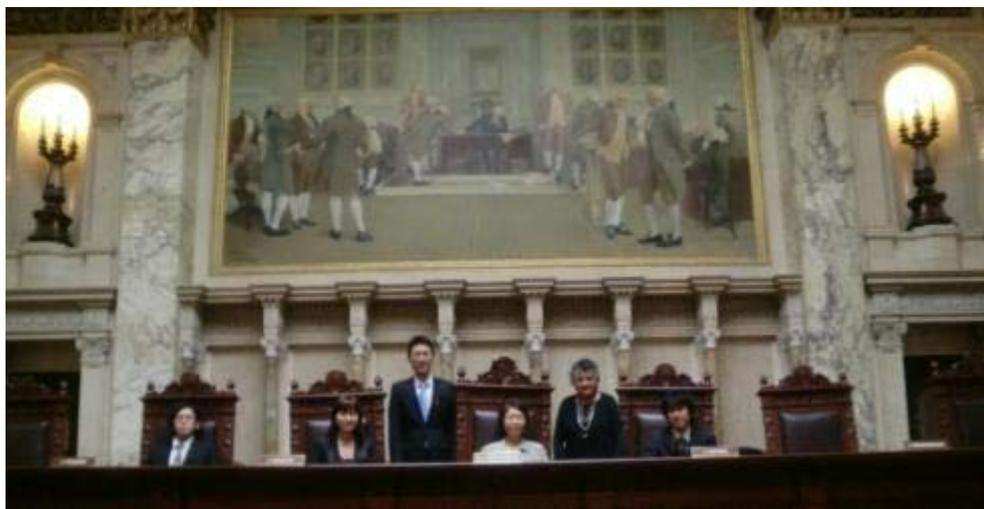
(州高等裁判所 4日) 事実審理・弁論がないので、法廷はありません。



裁判官が合議をする部屋



(州最高裁判所 4日)



エブラハムソン最高裁長官



最高裁での弁論は各当事者 30 分だけです。
交通信号と同じランプがつきます。
6 月は年度末で最高裁判所での弁論がないのが残念でした。

弁護士事務所見学

タイプの違う3つの事務所

一人弁護士事務所

裁判所の目の前の建物です。
2つの事務所が入っています。
事務員さんを共同で雇用しています。



中規模の法律事務所

不法行為訴訟専門事務所
原告を代理する。
引き受けるかどうかを慎重に判断する。
(スタインガス名誉教授も所属している。)



大きな法律事務所



経営担当の CEO がいます。



アメリカのパーティ・文化・生活

5月30日

長旅の疲れを癒す。

マクドナルド家訪問

1歳～90歳 4世代に歓待される。



裏庭でピクニック



クロケット（築100年以上の農家の前庭で）

5月31日

南山法科大学院で「外国法実務」を担当するアイリッシュ教授による歓迎パーティ





アイリッシュ教授宅

6月2日 感謝の食事会
接待する側として感謝を伝えられましたか？



3日 エルク判事との昼食会
午後に判決を言い渡す事件の説明を受けました。

4日
スタインガス教授宅
サヨナラ・パーティ

ハグされてビックリ↓



目的

法科大学院修了生を対象として、新司法試験後に集中的にアメリカの司法制度について、視察旅行をおこなって基礎的な素養を身につけることを目的として実施しました。

日程

5月29日	デトロイト経由でウィスコンシン州マディソン市着
5月30日	9:00 Freya(通訳)と打ち合わせ 5:00 マクドナルド家(マディソン郊外)訪問して歓談・夕食
5月31日	10:30 ウィスコンシン大学ロースクール法廷教室にて スーザン・スタインガス名誉教授講演 「アメリカの司法制度」 6:30 アイリッシュ教授宅で歓迎パーティ
6月1日	9:00 デーン郡巡回裁判所第7法廷(ハンラハン判事) 2つの陪審員選任を見学 1:15-5:30 同法廷で Gorman v. Village of Waunakee 審理を見学 5:45-55 陪審員に質問
6月2日	1:15-1:55 同法廷で Wisconsin v. Graham 審理を見学 2:00-4:30 一人法律事務所(クィラン弁護士)訪問 6:30 感謝のパーティ
6月3日	9:00 同裁判所第5法廷 マクナマラ判事講演「陪審員への説明の仕方」 10:00 法廷の後の施設見学 10:30 Wisconsin v. Barney 判決の言い渡し(マクナマラ判事)見学 11:20 イニシャル・アピアランスを見学 12:00 同裁判所第15法廷 エルク判事と打ち合わせを兼ねて昼食 1:30-2:45 同法廷で訴答を見学 3:00 スタッフォード法律事務所訪問
6月4日	10:00 ハービッシュ法律事務所訪問 12:00 州高等裁判所ヒギンボサム判事と打ち合わせを兼ねて昼食 1:30 同裁判所見学 3:00 州最高裁判所見学 エブラハムソン長官と会談 6:00 スタインガス教授宅で さようならパーティ
6月5日	現地解散

5回の事前研修(5月17日～27日)と事後研修(6月11日)及び報告会(6月16日)を行いました